

1.小谷村と妙高戸隠連山国立公園

- ✓小谷村は、妙高戸隠連山国立公園の北部に位置し、雨飾山などの日本百名山にも数えられる名峰や鎌池を有し、登山や紅葉見物、弘治元年（1555年）に発見された小谷温泉等の自然資源を求めて古くから多くの利用者が訪れる地域である
- ✓小谷村は令和2年3月に長野県で4番目（全国83番目）にゼロカーボンシティを表明



2.小谷村でのゼロカーボンパークの取組

①脱炭素に向けた再エネの導入・省エネの推進

- ・小谷村社会福祉協議会「せせらぎ」をはじめとしたケアハウスいわかがみの福祉施設においては、CO₂排出の少ない再生可能エネルギーとなる温泉資源を利用した、暖房・給湯への熱利用により、化石燃料の消費を大幅に削減し、地域の脱炭素化と安定したエネルギー供給を実現するクリーンな取組を行っています。



2.小谷村でのゼロカーボンパークの取組

②エコツーリズムにおける環境保護と観光の両立推進

- ・森林機能の向上を目指すために、森林を整備・保護するとともに、村有林・村行造林地となる約 3,500 ha（民有林の約20%）の森林は、水源涵養、環境保全などの大きな役割を担っており、これら公有林の維持、保全を推進していくことで適正に管理、保全された自然環境によるCO₂吸収量を確保します。
- ・エコツーリズムにおける環境保護と観光の両立推進を目指す取り組みとして雨飾高原・トレッキングコースなどの観光施設との連携を図り、様々な体験型企画やツアーなど、森林資源を有効活用した取り組みを実施します。



③自動車・交通分野におけるCO₂排出削減

- ・公共交通において、利便性の向上とCO₂排出量削減に包括的に取り組んでいます。低燃費車両への推進や、デジタルタコグラフを使った燃費の見える化によって、エコドライブに取り組んでいます。



2.小谷村でのゼロカーボンパークの取組

④プラスチックごみ削減対策

- ・大町市、白馬村と共同設置したリサイクルセンターでの3Rを推進し、ごみ減量と資源循環を進めるとともに、生ごみは食品ロスの削減と水切りを強化し、紙類やプラスチック類は資源物として分別を徹底します。
- ・マイバッグキャンペーンやマイボトル利用の推奨により、プラごみの削減を図ります。



⑤民間企業との水源涵養活動

- ・サントリーは長野県大町市に「サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場」を構えており、この施設は白馬村や小谷村を含む北アルプスエリアの重要な産業・観光拠点となっていて、「天然水の森北アルプス」として、工場周辺の森林整備を推進しており、大町市・白馬村・小谷村を含むエリアの自然環境を守る活動を行っています。



3.環境省における対応

- ✓ 信越自然環境事務所が連携を取りながら伴走支援を進め、国立公園満喫プロジェクトの取り組みとも連動し小谷村の地域脱炭素化等の取り組みを後押し